

# 公表

## 第59回技能五輪全国大会「とび」職種競技

次の注意事項に従って、競技課題1、2、3を行いなさい。

### 1. 競技時間

第1日目 競技時間（制限時間 4 時間 30 分）  
組立て 午前の部 8：30 ～ 11：30、午後の部 12：30 ～ 14：00

第2日目 競技時間（制限時間 2 時間 25 分）  
重量目測 8：10 ～ 8：20  
解体 8：30 ～ 10：45  
重量物運搬（解体競技を含む）

### 2. 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「競技課題」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。ただし、クランプ不良の場合は交換する。
- (4) 支給材料以外の材料は、一切使用しないこと。
- (5) 使用工具等は、使用工具等一覧表で指定した以外のものを使用しないこと。ただし、使用工具等一覧表記載の工具等については、予備の工具を予め預けることができる。
- (6) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。ただし、使用工具等の不具合が生じた場合は、競技委員に確認の上、予め預けている予備の工具等を使用することができる。
- (7) 作業時の服装等は、作業に適したものであり、上衣は、長そでとすること。（手袋、墜落制止用器具及び保護帽を含む。）
- (8) 競技終了は、後片付け、整理整頓後、時計係に終了報告をした時点で終了とすること。
- (9) 不安全行動が確認された場合は減点。危険作業とみなした場合は作業を中止し失格とする。
- (10) 雨天・強風等により競技時間が変更される場合がある。
- (11) 大会当日は、足場の組立て、解体又は変更の作業に関し、労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示すること。  
なお、証明書等の確認ができない場合は、別紙様式により特別の教育を修了していること又は同等の知識及び技能を有していることの申告をすること。  
ただし、平成27年7月1日以前に足場の組立て、解体又は変更に関する業務に従事していた者で、特別教育を修了していない者については、証明書等の原本若しくは写しの提示は要せず、別紙様式での申告も要しない。

### 3. 課題1（コの字型高床式切妻小屋組）

次の注意事項及び仕様に従って、別図に示すコの字型高床式切妻小屋組を、鋼管を使用して組み立て、解体を行いなさい。

## (1) 注意事項

- イ. 敷板の配置及び柱位置の割り出し時間は、競技時間に含む。
- ロ. クランプの先付けは、当該作業以外の作業において行わないこと。
- ハ. 単管の建て掛けは、危険作業とみなし減点とする。
- ニ. 作業順序は、柱の配置を決め、床はり、床けたに木製足場板を敷き、昇降ステップ階段を組立て、作業床を使って小屋組を組立てること。(解体については、逆とする。)
- ホ. 基準柱と準基準柱は、控えをしっかりと取り、控え材は、支給材料を一時転用すること。
- ヘ. 手摺、中さんは、地面より取り付ける。
- ト. 手摺を超える高さの作業については、昇降ステップ階段を使用して高床で作業すること。
- チ. 高所作業における資材の運搬は、高床上に一旦上げてから行うこと。
- リ. 小屋けた、小屋はりより上部への取付け作業は、足場板を設けて行い、墜落制止用器具を使用すること。なお、足場板の使用については、両端を必ずゴムバンドで固定し、安衛法に基づき使用すること。また、墜落制止用器具のフックの位置は、腰より上に取り付けること。
- ヌ. 高所作業でのクランプの運搬には、つり袋を使用すること。
- ル. 上部取付け作業で使用した足場板は、全ての部材を取り付けてから取り外すこと。
- ヲ. 競技課題の組立て、解体には支給したインパクトドライバーを使用する。

## (2) 仕様

- イ. 寸法は、図面に示すとおりとすること。
- ロ. 柱の根元は、ジャッキベース金具を足場板に釘で4ヶ所止めによって固定すること。
- ハ. 基準柱、準基準柱は、図面に示すとおりとすること。
- ニ. 単管の緊結には、クランプを使用すること。また、部材が直交する箇所は、直交クランプを使用すること。
- ホ. 根がらみ・手摺・中さんは、図面に示すとおり取り付けること。
- ヘ. 火打ちは、図面に示すとおり取り付けること。
- ト. 小屋組高床の木製足場板は、図面に示すとおり足場板の端部は番線でハコ締めにて固定すること。なお、番線端部は、安全に処理すること。
- チ. 高床に使用する調整栈木は、両端を番線でタル巻きとし、足場板は、図面に示すとおり両端と中央をそれぞれ調整栈木に釘止めにて固定する。
- リ. 幅木は、図面に示すとおり建地へ番線ハコ締めにて2箇所を固定する。なお、番線端部は、安全に処理すること。
- ヌ. 幅木が番線ハコ締めにて2箇所締めできない場合は、両端に栈木を釘で2本止めし、さらにもう片方の幅木へ釘で2本止めすること。
- ル. 昇降ステップ階段は、端部を床けたに取り付ける。もう一方の端部は、敷板の上に置くこと。
- ヲ. 小屋はり及び小屋けたは、図面に示すとおり取り付けること。
- ワ. 斜材は、力学的にみて、有効なところに取り付けること。
- カ. 合掌は、むな木の上部に取り付けるものとし、取り合い部分は、突き付けとすること。
- ヨ. 合掌の下部は、柱とけたにそれぞれ取り付けること。
- タ. 高床における作業通路側に突き出している鋼管パイプの端部には、単管キャップを取り付けること。

## 4 課題2 (重量物目測)

次の注意事項に従って、重量物の目測を行いなさい。

- イ. 目測を行う重量物は、競技当日に指定された重量物であること。
- ロ. 目測を行った質量値は、当日提示される解答用紙に記入し、競技委員に提出すること。  
なお、解答用紙には、必ず工区番号及び氏名を記入すること
- ハ. 他の選手との会話は、厳禁とする。
- ニ. 鋼製スケール(コンベックスケール)等の計器器具は使用しないこと。

5. 課題3 (重量物運搬)

次の事項に従って、競技課題1で解体した材料を指定された場所まで運搬しなさい。

(1) 注意事項

- イ. できるだけ運搬回数を少なくして運ぶこと。
- ロ. 運搬中は、資材を落とさないこと。

6. 支給材料

コの字型高床式切妻小屋組					
敷板(杉製)	4,000×200×36mm	4枚	真づか	単管 1.0m	1本
	1,000×200×36mm	1枚	つか	単管 0.8m	4本
	200×200×36mm	1枚	合掌	単管 2.5m	8本
足場板(杉製)	4,000×200×36mm	8枚	斜材	単管 1.3m	4本
	1,850×200×36mm	4枚		単管 1.1m	4本
ジャッキベース	140×140mm	17ヶ			単管 1.0m
柱	単管 4.0m	2本	幅木	4,000×200×36mm	2枚
	単管 3.0m	4本		3,480×200×36mm	1枚
	単管 2.0m	11本		3,000×200×36mm	2枚
根がらみ	単管 4.0m	5本		1,000×200×36mm	1枚
	単管 2.0m	1本		770×200×36mm	2枚
	単管 1.2m	2本		加工番線 (#10)	0.8m
床ばり	単管 4.0m	4本	クランプ	直交	153ヶ
床けた	単管 4.0m	2本		自在	42ヶ
ころばし	単管 1.2m	7本		3連(直交、自在)	7ヶ
火打ち	単管 2.5m	2本	とびつき	単管 1.2m	1本
	単管 1.5m	4本	上部用足場板(杉製)	4,000×200×35mm	6枚
手摺・中さん	単管 4.0m	6本	ゴムバンド		6ヶ
	単管 3.0m	4本	単管キャップ		19ヶ
	単管 1.2m	4本	階段	アルミ (法面2号)	1ヶ
	単管 1.1m	2本	階段手すり	アルミ (法面2号手摺12型)	2ヶ
小屋ばり	単管 4.0m	2本	栈木	820×75×75mm	3本
小屋けた	単管 4.0m	2本	栈木 (幅木止め)	200×60×36mm	4本
小屋けた(トラス用)	単管 4.0m	2本	くぎ	65mm	102本
つなぎ材	単管 4.0m	1本		45mm	8本
むね木	単管 4.0m	2本			

## 7. 持参工具一覧表

品名	数量
鋼製スケール (5.5m以上で水平器の付いていないもの)	1
ラチェットスパナ (ひも付)	1
手袋	1
フルハーネス型墜落制止用器具 (旧規格対応)	1
保護帽	1
安全靴 及び 安全地下足袋	1
金槌	1
ボール	1
カッター	1
落下防止紐 (インパクトドライバー取付)	1
カラビナ	1

## 8. 会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
チョーク		1本	
つり袋	下げフック付	1区画につき1ヶ	
インパクトドライバー	カラビナ対応フック付き	1区画につき1台	

## 特別教育の受講等に関する自己申告書

私は、技能五輪全国大会「とび職種」競技を安全に実施するために、足場の組立て、解体又は変更の作業に関し、労働安全衛生法第 59 条第 3 項の規定に基づく特別の教育を受けていること又は同等の知識及び技能を有していることを申告します。

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_